

東京藝術大学大学院音楽研究科 博士後期課程 日本舞踊

宇津木安来

第一回博士リサイタル



博士課程研究報告(実技発表と研究報告) *長唄京鹿子娘道成寺を題材にして

日本舞踊の身体技法としての〈体幹部〉を捉える

〈女踊りにおける胸使いに限定して〉

研究内容

これまで日本舞踊では、「手足頭」の動きから構成される、「ふり」の技法が研究・伝承の中心となってきた。これに対し、本博士研究では「体幹部」の技法を捉える事を目的とし、その中でも特に女踊りにおける「胸使い」に限定してモーションキャプチャを用いた技法の解明にあたっている。本報告では、博士課程一年目の研究成果の経過報告を、実技を交えつつ行う。

日時・場所

平成二十八年三月十六日(水)

開場 十八時三〇分

開演 十九時〇〇分

於東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

*入場無料

宇津木安来(うつぎあんら)

平成二年生まれ。

三歳よりバレエを始め、ペンシルベニア・バレエ団に入団。

十一歳より日本舞踊を始め、宗家藤間流藤間洋子師に師事。

十六歳で藤間勘洋舞の名を許され、十九歳で宗家藤間流師範修得。

平成二十年、東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻に入学。

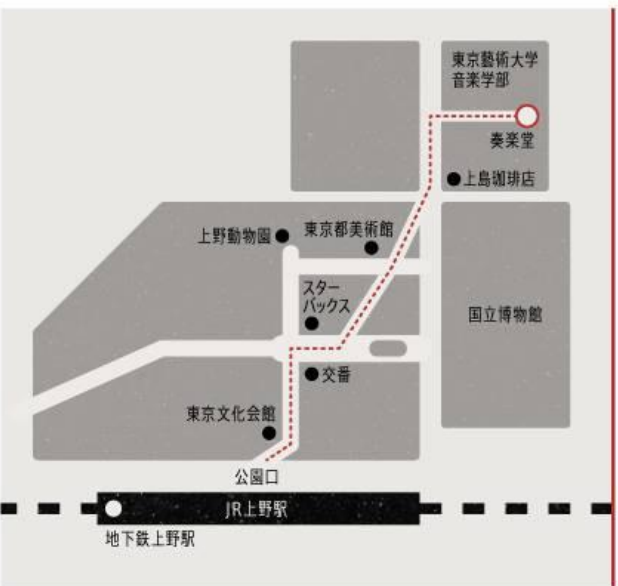
同大学大学院音楽研究科邦楽専攻修士課程、研究員を経て、

現在、博士課程一年に在籍中。運動科学総合研究所芸術研究員。

博士課程の研究テーマは、

日本舞踊の身体技法としての(体幹部)を捉える

〔女踊りにおける胸使いに限定して〕



アクセス

〒110-0187 一四

東京都台東区上野公園十二一八

東京藝術大学音楽学部敷地内奏楽堂

JR 上野駅(公園口)より徒歩一〇分

地下鉄 千代田線根津駅より徒歩一〇分

日比谷線・銀座線上野駅より徒歩十五分

京成電鉄 上野駅より徒歩十五分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ

geidai.nichibu@gmail.com 〇三〇一六四三〇一九二八〇

宇津木安来



第一回博士リサイタル